



平成 16 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルガレージ  
代表者名 代表取締役 CEO 林 郁  
( 登 録 銘 柄 ・ コ ー ド 4 8 1 9 )  
( URL <http://www.garage.co.jp/> )  
問い合わせ先 取締役 CFO 経営管理本部長  
徳 山 涼 平  
T E L 0 3 - 5 4 6 5 - 7 7 4 7

### 平成 16 年 6 月期 連結業績および個別業績の見通しについて

当社では、事業の柱であるソリューション事業およびプラットフォーム事業等に付随して、VTC(ベンチャー・トランスフォーメーション・キャピタル)事業を行っております。VTC事業は、投資をともなう事業育成のインキュベーション事業であり、当社は創業以来、同事業を通じて社会のコンテキスト(文脈)を創ることを標榜しておりました。当社にとってVTC事業とは、収益構造上では一事業部門としては成り立っていないものの、大きな影響を与え得る事業であると考えております。

同事業は、期中において活発に行われており、その結果、投資等にもなう連結調整勘定償却額(のれん代償却)の発生および事業譲渡等にもなう損益等が、当社グループ全体の業績に与える影響が大きいことや、当社グループの属するインターネット関連業界は歴史が浅く、かつ、変動が大きいことから、過年度の経営成績を用いた上での将来情報を打ち出すことは困難であり、投資家に対して非常に不確定要素の高い数値を提示し、誤解を生じる可能性があると考えております。

このような状況下、当社としては昨年より業績予想の公表を行わないことといたしておりますが、平成 16 年 6 月期の業績の見通しが平成 15 年 6 月期の業績数値と比べ著しく変動する見通しとなりましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 平成 16 年 6 月期 連結業績の見通しについて

(1) 当期(平成 15 年 7 月 1 日~平成 16 年 6 月 30 日)の連結業績の見通し

(単位:百万円)

|                 | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|-----------------|-------|---------|-----------|
| 前 期 ( A )       | 3,520 | 202     | 217       |
| 当 期 見 通 し ( B ) | 6,217 | 210     | 380       |
| 増 減 額 ( B - A ) | 2,697 | 7       | 598       |
| 増 減 率 ( % )     | 76.6% | 3.8%    | %         |

## (2) 変動の理由

当期の連結業績が前期に比べ大きく変動する見通しである要因は、後記いたしております当社個別業績の変動の見通しにともなうものが主な要因となっております。また、プラットフォーム事業における連結子会社(株)カクコム、同(株)イーコンテキストの堅調な推移は、売上高の増加、および経常損失の減少要因となっております。VTC事業の成果となる関係会社株式売却益(1,027百万円)、持分変動利益(323百万円)を計上する見込みであり、当期純利益は598百万円改善する見込みであります。

## 2. 平成16年6月期 個別業績の見通しについて

### (1) 当期(平成15年7月1日~平成16年6月30日)の個別業績の見通し

(単位:百万円)

|             | 売上高   | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------|-------|------|-------|
| 前期 (A)      | 2,604 | 20   | 3     |
| 当期見通し (B)   | 4,238 | 270  | 209   |
| 増減額 (B - A) | 1,633 | 250  | 206   |
| 増減率 (%)     | 62.7% | - %  | - %   |

## (2) 変動の理由

当期の個別業績が、前期に比べ大きく変動する見通しである要因は、以下のとおりであります。

ソリューション事業において、顧客獲得のため戦略的にソフトウェアライセンスの販売や当社グループ内のマーケティング戦略にともなう広告代理店業務等の受託で売上高は増加いたしました。しかしながら、戦略的な受注による利益率が低いものも含まれており、経常利益を押し下げる要因となりました。また、CB発行にともなう社債発行費用や、その他VTC事業推進のための資金調達のコスト等増加により経常利益は減少する見込みであります。一方、VTC事業の成果となる関係会社株式売却益(971百万円)等により当期純利益は増加する見込みであります。

### 【御参考】

<ソリューション事業>

[ITソリューション]

受託開発業務を中心とした業務であり、インターネット関連のシステム、Eコマースのシステムあるいはプラットフォームを受託し設計・開発する業務であります。また、検索システム等のソリューションとしてのソフトウェア販売も行っております。

#### [マーケティングソリューション]

マーケティングソリューションは大きく二つに分かれています。第一にビジネスモデルの設計、インターネット関連のシステム、Eコマースシステムあるいはプラットフォームビジネス展開のコンサルティングであり、もう一つはインターネットマーケティング活動における広告の代理店ビジネスやリサーチ業務が主なものとなっております。

#### <プラットフォーム事業>

当社グループの自社型事業であるプラットフォーム関連業務は、連結子会社である㈱カクコムが企画・運営する価格比較サイト「価格.com」、同じく連結子会社である㈱イーコンテキストが運営する通販事業やECビジネス等に向けた決済・物流プラットフォーム事業が主なものとなっております。